

4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	①生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図る。 ②生徒の学習意欲を向上させ、基礎的・基本的な知識の習得とそれを活用する力を育む取組を充実させる。 ③総合的な学習の時間を充実させ、基礎学力の充実、キャリア支援を図る。	①三修制を目指す生徒に定通併修等による多様な学習の機会を確立する。 ②生徒の能力・適性に応じた授業方法や教材の工夫改善に取り組むことより、授業力向上を図る。 ③9分総合の指導内容や指導方法を充実させ、指導の体系化を図る。また、2年次以降の10分ホームルームでの取組につなげる。
2	生徒指導・支援	①生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえたきめ細かな生活指導と相談体制を充実させる。 ②部活動を充実させ、生徒が有能感を感じられる取組を進める。	①全職員で統一見解を持って生徒指導にあたり、生徒の困り感やニーズを把握・共有し、組織的に課題解決に当たる。 ②大会参加や日々の活動の機会を確保し、部活動の活性化を図る。
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの自己実現を目指した体系的なキャリア教育を推進する。	生徒のキャリア意識を高める組織的な進路指導・教科指導により、進路決定、進級・卒業につながる教育活動を推進する。
4	地域等との協働	保護者と地域に信頼される学校を目標として、学校行事や地域貢献活動を通じた開かれた学校作りを推進する。	保護者や地域住民等と協働・連携した教育活動を展開したり、ホームページ等により広報活動を展開する。
5	学校管理 学校運営	①生徒にとって安全・安心な学校作りに取り組む。 ②教職員が事故・不祥事防止に努める。	①生徒の交通安全、防災、食生活に関する意識を向上させる。 ②教職員の事故・不祥事防止の意識の啓発を図る。